

東日本地区会 開催



令和元年10月3日、京王プラザホテル札幌において、東日本地区会(代表幹事：九萬原敏巳／東北インフォメーション・システムズ(株)専務取締役)例会を開催した。参加者は20名。

九萬原代表幹事から開会の挨拶と、今年度東日本地区会の代表幹事に自身が就任し、北海道地区は西山秀樹理事／(株)HDC 代表取締役)が就任した旨報告があった。

まず、経済産業省 北海道経済産業局 地域経済部 岡出直人部長から「社会の情報技術化を支えている産業であり、新技術にもチャレンジして更なる地域経済の発展にご尽力いただきたい。」と挨拶があった。

次に、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 ソフトウェア産業戦略企画官 和泉憲明氏から、クラウド化の加速と技術動向、「DX 推進指標」の策定とその狙いなどデジタルトランスフォーメーションの推進と政策展開に関する経済産業省の政策について解説があった。

続いて、JISA 小脇一朗副会長・専務理事が、「DXの実現のためには、『人材』『技術』『経営』の『三位一体の革新』が重要で、特に『人材』に注力する」と今年度の JISA の活動体制と重点取組事項について説明。また、地域活性化、グローバル展開、業界プレゼンス向上のための取組など JISA 事業のトピックスについても紹介した。

最後に、西山理事から昨年の大きな自然災害からの復興が進んでいること、韓国との関係が観光業に大きなダメージを与えているものの、経済は緩やかな持ち直しが続いていることなど北海道地区の情勢について、九萬原代表幹事からなど東北地区の団体(東北地域情報サービス産業懇談会・宮城県情報サービス産業協会)と連携した活動紹介や東北地区の情勢について報告があった。

休憩を挟んで、公益財団法人北海道文化財団 磯田憲一理事長による講演「新しい生命への贈り物～君の椅子の14年～」が行われた。“新しい生命が誕生した喜びを地域の人々で分かち合いたい”と旭川家具の産地 東川町から始まった、新生児に道産材の手作りの椅子を贈る「君の椅子プロジェクト」。居場所の象徴としての椅子を、“生まれてくれてありがとう”という思いを込めてこれからも贈り続けたいと磯田氏は語った。



デザインが毎年変わり、座面の裏に名前や生年月日などが刻印された“世界に一つだけの椅子”

(赤尾)